

宮城学習センターでは、学生同士の交流や直接教員から指導を受けられる貴重な学び場として、演習形式の課外授業ゼミを開講しています。

受講希望の方は、事務室窓口、電話、メールでお申込みください。定員になり次第締め切ります。

お申込み時に以下①～④をお知らせください。

①ご希望のゼミ名 ②お名前 ③学生番号 ④メールアドレス

※④は休講や日程変更の連絡の際に使用しますので、普段ご利用のメールアドレスをお知らせください。

受付期間 10月20日(金)～10月28日(土)



前学期から引き続き受講を希望される方もお申込みが必要です。

「地域で『自分らしく』生きる」とは ～地域包括ケアシステムの切り口から考える

加藤 由美 先生

日時：第2・4木曜日
14:00～15:30

初回：11月9日(木)
定員：10名

地域包括ケアシステムとは、「重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」仕組みであると定義されています。この定義にある「自分らしい暮らし」とは、どのような暮らしでしょうか。地域で「自分らしく」生きるうえで何が大切だと思いますか。これらの問いに「正解」はありません。このゼミでは、地域包括ケアシステムや関連領域を学びながら、「地域で『自分らしく』生きる（＝生き切る）」ことを各自が自分事として捉え、検討します。検討のたたき台には、小堀鷗一郎著「死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者」を用います。

【学生が用意するもの】

小堀鷗一郎『死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者』みすず書房、2018年5月1日発行、ISBN：978-4-622-08690-1

精神分析の基礎概念を学ぶ

中嶋 みどり 先生

初回：11月21日(火)
時間：14:00～15:30
定員：20名

【実施予定日】

11月：21日
12月：12日
1月：9日、30日
2月：20日
3月：5日

精神分析の理論、基礎用語・概念は、実際どのような事象・現象かについて、妥当な解釈・仮説を立てられるようになるには、発達、情緒、愛着面の心理学的理解と多様な教養も身に着けるなど、長年の努力を要する分野である。このゼミでは、自我の構造論・局所論、自我機能と防衛機制、愛着の理論、その他といった基礎用語・概念の理解を定着させることを第一として、基礎の大切さを重視し、難易度の高い範囲を扱わないこととする。

【学生が用意するもの等】

用意できれば、馬場 禮子『改訂 精神分析的人格理論の基礎—心理療法を始める前に』岩崎学術出版社、2016年

資料を配布しますので、必ずしも購入が必要とは限りません。

西洋美術への招待

尾崎 彰宏 先生

日時：第2火曜日
12:30～14:00

初回：11月14日(火)
定員：15名

このゼミでは、前期に続き、拙著『風俗画のスペクタクル』に基づきオランダ美術を中心にして、作品が生みだされた時代背景——歴史、思想、社会などを学びながら、その時代に生きた人間について考える。

人文社会自主研究ゼミ

尾崎 彰宏 先生

日時：第4火曜日
12:30～14:00

初回：11月28日（火）
定員：15名

2021年後期からはじめたゼミである。受講生が勉強していること、考えていることを発表してもらい、それに基づいて参加者を交えて議論するものである。学習は、受動的に学ぶだけでは、深まっていけない。自分で発見した問題を検討し、人に伝える努力をしてはじめて、どういう点が自分ではわかっていないかが理解され、新たな課題がみえてくる。このゼミは、発表希望者がいる場合に開講する。

事例で考える民法・消費者法 ～特定商取引編

栗原 由紀子 先生

日時：第2・4木曜日
14:00～15:30

初回：11月9日（木）
定員：20名

こちらで用意した裁判例を素材に、法律上の問題意識を喚起し、これに関する民法および消費者法の理論や制度について解説します。当該事例の判決要旨を読みながら、問題解決の筋道を講義のなかで一緒に考えましょう。今期は、特に「特定商取引に関する法律」の解説をしながら、訪問販売や通信販売、マルチ商法などの「特定商取引」に関する裁判例を検討していきます。

【学生が用意するもの等】

学習用六法（ポケット六法、デイリー六法、法学六法など）。民法や消費者の教科書・入門書（教科書や入門書等の紹介は初回に行います）。

宮沢賢治の童話を読む

佐藤 伸宏 先生

日時：第1・3木曜日
10:30～12:00

初回：11月16日（木）
定員：20名

このゼミでは、宮沢賢治の童話を取り上げて、読み進めていきます。それらの作品は、子供のために書かれた童話（「イーハトヴ童話」）ですが、さまざまな読み方を可能にする、豊かな奥行きを備えています。そのような賢治の童話作品について、細部の表現に留意しながら本文を丁寧に読みこむことをとおして、また自由な意見交換を行うなかで、その魅力や面白さを確かめてゆくことにします。今年度第2学期は、下記の使用テキストに収録されている「オツベルと象」「セロ弾きのゴーシュ」「銀河鉄道の夜」その他の童話を読むことにします。最初に取り上げるのは「オツベルと象」となります。

【学生が用意するもの等】

テキストは、宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』（新潮文庫）を使用します。各自で入手して下さい。

物事の二通りの捉え方

戸島 貴代志 先生

日時：第2・4火曜日
13:00～14:30

初回：11月14日（火）
定員：20名

ものごとを把握するときの基本的な仕方について、フランスの哲学者であるアンリ・ベルクソンのテキストに沿って考えてゆきます。ベルクソンは、物事の把握には二通りあるとし、それぞれを、①物事を外側から捉える仕方、および②物事を内側から捉える仕方、として説明しています。ゼミでは、様々な事例を使いながら、この二通りの把握の仕方について一步一步皆さんとともに考えてゆきます。難しい哲学の概念はほとんど使いません。どなたでも参加できるゼミです。

※ものごとを大本から考えたい方、あるいはものごとの大本を考えたい方のためのゼミです。

【学生が用意するもの等】

テキストは授業時に配布します。参考テキストは授業時に指示します。

災害の記録を読む ～明治 22 年水害と仙台・宮城～

川内 淳史 先生

日時：第 1・3 木曜日
15:00～16:30

初回：11 月 2 日（木）
定員：20 名

このゼミでは、身近な地域の歴史資料を読み解きながら、当時の社会について学んでいきたいと考えています。

第 1 学期に引き続いて、明治 22 年（1889）9 月に宮城県下を襲った水害の記録を読んでいます。当時書かれた記録の写真版（コピー）を受講者と一緒に読み解き、当時の被害の様相や、災害に遭遇した人々について学んでいきたいと思っています。

ゼミで読むテキストについては、こちらで用意いたします。比較的読みやすいテキストを用いますので、古文書解読の経験の無い方も歓迎です。また、前学期の続きを読んでいます。初回授業ではこれまでのおさらいをしますので、今学期初めて参加される方も大歓迎です。

【学生が用意するもの等】

授業に使用するテキストは、こちらで用意します。参考文献としては以下のテキストがあります。（当日用意する必要はありません）

天野真志『記憶が歴史になるとき—遠藤家文書と歴史資料保全』蕃山房、2016 年

気になる海の環境問題

片山 知史 先生

日時：第 3 金曜日
10:30～12:00

初回：11 月 17 日（金）
定員：25 名

見えにくい海の中ですが、特に近年注目すべき環境問題が生じています。海洋温暖化・酸性化、マイクロプラスチック、放射性物質、生物多様性など、その原因や実態を、わかりやすく説明します。何が問題なのか。海洋環境問題について、ともに考えてみましょう。

「地球と宇宙のサイエンス」

小原 隆博 先生

日時：第 2・4 水曜日
15:00～16:30

初回：11 月 8 日（水）
定員：15 名

私たちが暮らしている地球と、地球を取り巻く宇宙で起こっている不思議な現象や様々な謎に、科学の目で迫ります。題して、「地球と宇宙のサイエンス」。

受講生は、気象や地球、天文や宇宙から、自分が不思議と思うテーマについて、自ら調べて、その結果を発表し、ゼミ参加者全員で議論し、共通の理解へと繋げていきます。

積極的な学習方法（アクティブラーニング）を身に付ける事も、この課外学習ゼミの目標です。

【学生が用意するもの等】

ゼミ生が興味あるテーマについて調べるとき、参考になる資料など、こちらからも提供します。

ゼミ生のテーマ選びの参考文献として、例えば、以下の図録やテキストがあります。

★『地学図録（視覚でとらえるフォトサイエンス）』数研出版、初版2016年、毎年改定

★『よくわかる宇宙と地球のすがた』（理科年表シリーズ）丸善出版、初版 2010 年

課外授業ゼミを受講される皆様へ

- ・課外授業ゼミは単位にはなりませんのでご注意ください。
- ・授業形態は講義室での対面形式です。
- ・受講当日は、宮城学習センター2階出入口に掲示している「本日の部屋割り」で教室をご確認いただき、そのまま教室へ入室してください。